

ニュースリリース

お薬手帳持参患者を増やすため、薬袋にキーワード無料印刷を開始。

薬袋やお薬手帳などの医療消耗品を販売し、全国の医療機関 70,000 軒を顧客に持つ医療総合サービス商社の株式会社シンリョウ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長鈴木栄)は、患者がケガや病気で病院・クリニックに通院する際や、処方せんを持って薬局に通局する際に、「お薬手帳を持っていく」ことを広く伝える PR 活動を行います。

平成 26 年 4 月 1 日より施行された診療報酬改定及び調剤報酬改定により、医療現場、投薬現場、在宅療養医療チームにおける「お薬手帳」の重要度が一層高まりました。

【お薬手帳とは】 医療機関または薬局より患者に対して発行され、投薬状況を経時的に閲覧できるようにした A6 サイズの手帳です。

お薬手帳は薬剤師による的確な服薬指導を行うために必要であり、薬の副作用やアレルギーによる危険、重複投与などを防ぐ大切な手帳です。国民一人 1 冊必ず持つことを勧めています。

近年では各地薬剤師会をはじめとした「電子お薬手帳」も普及し始めましたが、緊急時・災害時など電気・通信が使えない時こそ活用できる「紙のお薬手帳」も必須とされています。

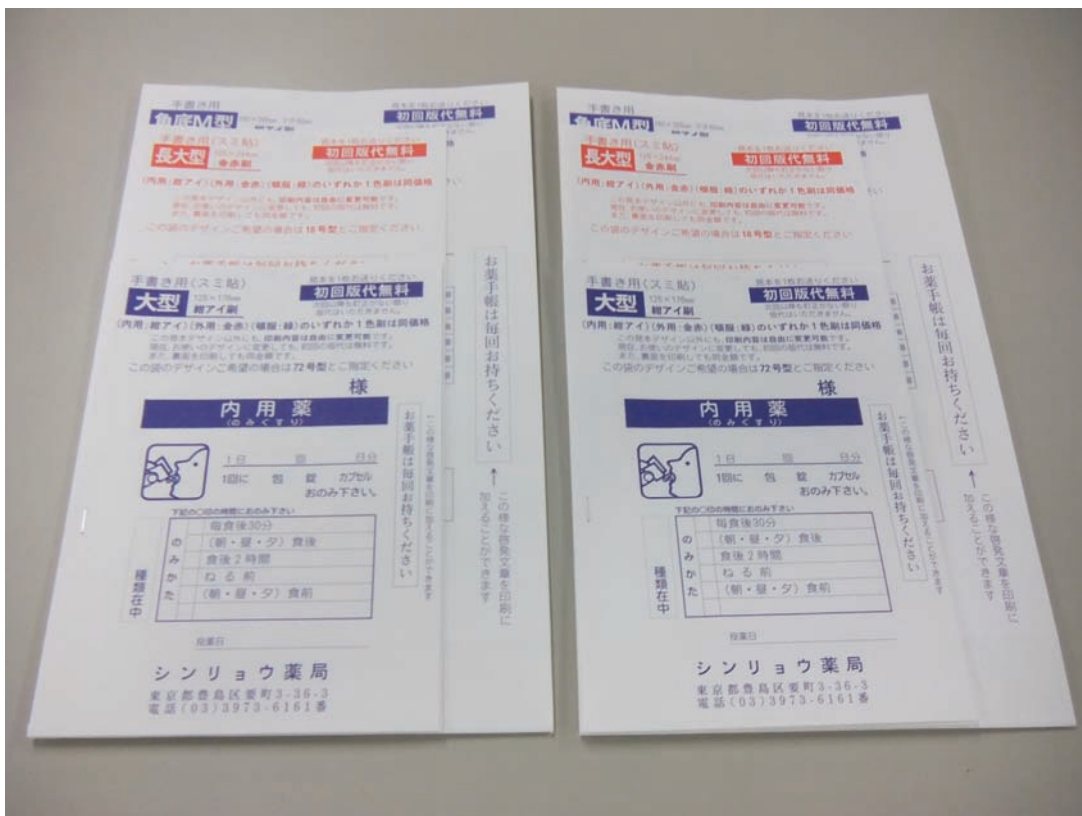
①薬袋でお薬手帳持参 PR

シンリョウは薬袋を昭和19年から販売開始し、昨年は全国の医療機関様に4億8,594万枚を販売しております。そんな薬袋のパイオニアとして「患者のお薬手帳持参率アップ」に貢献します。

【薬袋のデザインに「お薬手帳に関するPR文言を無料追加」】

薬局から渡される薬袋には「薬の飲み方・使い方」が記載されており、患者さんも必ず手にします。その薬袋に「次回もお薬手帳をご持参ください」や、「毎回お薬手帳をご持参ください」などの文章を無料(追加料金:通常時¥1,200)で印刷するというもの。薬袋購入歴のある29,001軒を中心に、サンプルを2万セット製造準備し、期間集中して薬袋の注文毎に顧客に「文章追加サービス」のご案内をして参ります。

また、【薬袋の裏面にお薬手帳啓発デザインの追加も無料】にしております。シンリョウが取り組んでいる薬袋の裏面デザイン119種の活用と並行し、お薬手帳に纏わるデザインの追加印刷も無料で案内をしている。



②無料ポスターでお薬手帳持参 PR

シンリョウでは【平成 22 年 5 月から季節ごとに年 4 回お薬手帳持参啓発ポスターを製造】し、お薬手帳注文者へ無料で差し上げています。今回も 5 月から夏バージョンの新デザインを製造。お薬手帳購入歴のある 18,475 軒を中心に配布とインターネットからの無料ダウンロードを実施しています。

毎回**必ず**お持ちください。

お薬手帳



**医療機関にかかる時には
お薬手帳を必ず持って
行きましょう。**

「いつでも・どこでも・安全に」投薬が受けられるように、
お薬手帳の常時携帯をお勧めします。

2011年の東日本大震災では、患者さんの薬や医療情報も無くなってしまいました。
そこで薬剤師が、飲んでいた薬の情報を記載したお薬手帳を作成し、限られた
状況の中でも治療に役立てることができました。

③スタンプでお薬手帳持参 PR

いつでもどこへもポンポンと押せるスタンプで薬袋、医療費明細書、服薬指導書などに押印し、

【お薬手帳持参を啓発できるよう文章を規格化】 1個 1,350円(税別)で販売を開始しました。



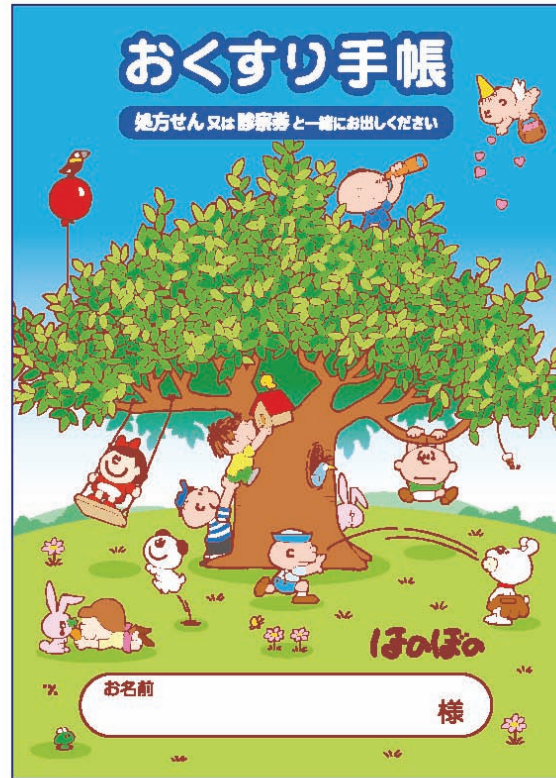
④表紙にキャラクターを用いたお薬手帳 特価新発売

お薬手帳の持参率が上がる要因としては、「手帳にカバーをつける(有難味感)」「ページ数が薄い(手軽感)」「キャラクターの表紙(親近感)」などが有ります。

今回は初の試みとして「ページ数が薄いキャラクターの表紙」のお薬手帳を 40 万冊の数量限定で特価販売開始します。キャラクターにはお子様から成人女性まで弊社人気実績のある「リラックマ」と、サラリーマン層に愛着のある「ほのぼの」を採用しました。



©2014 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



© K-TSUKUDA+GREEN CAMEL

※写真掲載の折にはお手数ですが各クレジットも掲載くださいますようお願い申し上げます。

以上 4 作戦を平成 26 年 7 月 31 日まで集中して案内して参ります。

薬袋メーカーとして、またお薬手帳メーカーとして「お薬手帳の持参啓発」を広く進めて参ります。

株式会社 **シンリョウ**

<http://www.shinryo.jp/>

お客様コールセンター TEL:0120-7-11296 FAX:0120-5-11296

〒171-0043 東京都豊島区要町 3-36-3